

社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」

「育もう 地域の愛で 子供の未来」～ 大人が子供の手本となり、みんなで人間力を高めます ～



あけましておめでとうございます

新しい年がスタートしました。冬休みが終わって、子供たちは久しぶりに友達に会えた喜びに笑顔があふれていました。冷たい風の中でも元気いっぱい校庭で遊ぶ姿が見られます。

これからの3か月間は令和6年度の締めくくりと次年度への準備をする時期になります。学年の総まとめをしっかりと行うとともに、次の学年への自覚や心構えを育て、子供たちが希望をもって進学・進級ができるよう努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には今後とも学校への温かなご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

◇ 規則正しい生活のリズムを ◇



子供たちにとって楽しいイベントがたくさんあった冬休みは、生活習慣も乱れがちだったのではないのでしょうか。冬休みが明けて1週間が過ぎましたが、まだまだ生活のリズムを取り戻せない児童がいるようです。冬休み気分を一掃し、規則正しい生活をする事で令和6年度をしっかりと締めくくりたいものです。

- ① 「早寝 早起き 朝ごはん」の生活リズムは習慣化されていますか。体内時計を調整し、規則正しい生活のリズムを取り戻せるようご配慮ください。
- ② 体調はくずしていませんか。冬休み中の暴飲・暴食が体調不良につながることもあります。インフルエンザ等の感染症から身を守る抵抗力をつけるためにも適度な栄養の補給と休養はとても大切です。
- ③ お金の無駄遣いはしていませんか。お年玉が入り、子供たちの財布のひもは緩みがちです。お金の使い道を考えさせると同時に子供の持ち物にも十分に目を配ってください。
- ④ お子さんが「誰と」「どこで」「どんなことをして」遊んでいるかなど、普段のお子さんの生活の様子を把握するために、日常の様子を食卓の話題にしたり、自分が子供の頃の話をして会話のきっかけをつくったりするなど、親子の会話の機会を増やせるとよいでしょう。お子さんの生活で気になることがありましたら学校にもご相談ください。防犯ブザーの携帯やヘルメットの着用についての声掛けも引き続きお願いします。

◇ かぜやインフルエンザにご用心！ ◇ — 予防・早期回復・蔓延防止 —

昨年末からかぜやインフルエンザ等により体調をくずす児童が増えていきます。寒さを吹き飛ばすように、運動したり遊んだりする子供たちの元気な姿も多く見られますが、発熱や頭痛、腹痛などの症状を訴えて保健室に来院する子供たちも少しずつ増えてきています。

学校では室内の換気に気を配るとともに、うがいや手洗いの励行を指導していますが、かぜの予防には栄養と休養、適度な運動が重要です。学校から配信されている「保健だより」を改めてご確認くださいとともに、ご家庭でも次のことを参考に、かぜの予防や休日の過ごし方についてご配慮くださいますようお願いいたします。

- ◆ うがい、手洗いをこまめにして付着したウイルスを洗い流すようにする。
- ◆ 早期回復、周囲への感染予防のため、発熱や悪寒などの症状が出たら無理に登校しない。
- ◆ 十分な休養を心がけ、睡眠不足や疲労による機能低下を防ぎ、体調を整える。
- ◆ かぜのウイルスは乾燥に強く増殖しやすいので、室内の保湿や換気に努める。
- ◆ ウイルスの飛散や吸収を防ぐため、人が密集した場所ではマスクを着用する。
- ◆ 不要不急の外出を控え、特に、多くのウイルスが浮遊する人ごみを避けるようにする。



◇ 相談したいことがあるのですが・・・ ◇ — 学校の相談窓口について —

「こんなことで先生に相談してもよいのでしょうか…」「だれに相談すればよいのか分からないのですが…」というような話を聞くことがあります。保護者の皆さんは、学校でのお子さんの生活の様子を常に見ているわけではありませぬので、お子さんが学校で、どのように友達とかかわっていたり学習に取り組んでいたのかは、気になるころだと思ひます。また、お子さんによつても、学校での様子などについて、家でたくさん話をする子もあれば、心に秘めてあまり表現しない子もいるでしょう。もちろん、担任の先生から話を聞くことで安心できる部分もあると思ひます。しかし、何度も話を聞くことに抵抗感を覚えたり、「こんなことを相談しても

よいのか」と躊躇したりするなど、気を遣うことも多いと思われます。また、直接子供にかかわる担任には話しづらいこともあるのではないのでしょうか。

学校教育では、保護者の思いや不安に寄り添い、子供の生活について、保護者と一緒に考えていくことは大変重要なことです。担任はもちろんですが、他の教員へご相談いただいても大丈夫ですので、いつでもお声掛けください。また、特に、かがやきルームや通級指導教室に関すること、不登校や学校への行きしぶり等集団への適応に難しさを抱えているお子さんのことについては、校内では「特別支援教育コーディネーター」が相談窓口となっておりますので、是非、ご連絡ください。今年度の特別支援教育コーディネーターは、〇〇 〇〇教諭です。

◇ なわとびで更なる体力づくりを ◇

今年もなわとびの季節がやってきました。本校では、自分の目標に向かって頑張り、充実感や達成感を味わわせるとともに、基礎体力の向上を目指し、チャレンジカード等を活用した取組を実施しています。なわとびは広い場所を必要とせず、一人でも複数でも楽しむことができ、短時間で多くの運動量を得られるなど、多くの利点をもつ優れたスポーツです。前跳びや後ろ跳び、かけ足跳び、あや跳び、交差跳び、二重跳びなど、たくさんの跳び方があり、「次はこれに挑戦!」と、子供たちの意欲も掻き立てられます。

また、学級で目標をもって長縄跳びの練習に取り組むことは、学び合いや励まし合いの態度を醸成することにもつながります。本校では、1月27日～2月14日の3週間を「大なわロングランチャレンジ」の実施期間とし、3分間で跳んだ8の字跳びの回数を学級ごとに記録していきます。期間中の記録更新を目指して、励まし合って取り組めるよう支援していきたいと思います。

なわとびに親しみ、丈夫な体をつくるとともに、自己の記録や学級の記録がますます向上することを期待しています。この機会に、ご家庭でも、是非なわとびの話題を取り上げてみてください。



◇ スマホやケータイの危険から守る ◇ ー フィルタリング100%キャンペーン ー

14日(火)に、「さくら連絡網」でメッセージを配信しましたとおり、1月14日(火)から2月28日(金)の期間、市内全小中学校で一斉に「フィルタリング設定100%キャンペーン」が実施されます。本校でも、各学級においてフィルタリング等の重要性について指導していきます。

子供たちのスマホ・ケータイの保有率、利用率は年々増加しております。簡単にネットにつながるスマホやタブレットなどの機器はより身近なものになっていますが、SNSの危険性を意識しないまま利用し、犯罪に巻き込まれてしまう児童・生徒の数も年々増加しております。

子供たちが安全に安心してICTを活用するためにはフィルタリング等の設定は不可欠であり、それを基盤として子供たちのデジタル・シティズンシップも育んでいけるものと考えます。

下記の表は、昨年度に実施したアンケートで、(スマホ等を保持している児童の中で)「見てはいけないサイトにつながらなくなるように、フィルタリングをしたり、キッズケータイをつかったりしている」の質問に「はい」と答えた児童の割合です。これを見ると、各学年とも、フィルタリング等の設定をしていないとする児童が相当数いて、その重要性については十分に浸透していないことがうかがえます。ご家庭では、保護者の責任として必ずフィルタリングの設定を行っていただきますようお願いいたします。

フィルタリングの設定状況(令和5年度「学習と生活についてのアンケート」より)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本校	66.7%	50.0%	69.4%	64.6%	76.1%	75.0%
宇都宮市	73.5%	71.5%	68.3%	73.4%	77.2%	77.9%

※ 学年は今年度のものではありません。

参考：令和4年度の結果

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本校	61.1%	43.3%	58.1%	80.0%	71.1%	77.0%
宇都宮市	71.3%	74.2%	68.0%	74.5%	77.7%	78.7%

